

ジャズが熱い!  
Jazz in  
precio

## ダニー シュエッケンディック

ジャズピアニスト



### アトランタからやってきた 心優しきピアニスト

大きな体を揺らしながら、大きな手が鍵盤の上を自在に走り回る。迫力のあるステージからは想像もつかないほど、取材の席での彼は穏やかだ。

「初めて日本に来たのは20年前。熊本でした。その後一旦帰国して次は名古屋へ。故郷のアトランタに似たいい街だった（笑）そのままずっと住み着いています」

中学生の頃よりピアノやドラムを始めた。大学に進学したものの、音楽好きが抑えきれず中退。今の道に足を踏み入れる。

「でもね、最初は音楽だけでは食べられないからサラリーマンもしたよ（笑）」

と言うがなかなかどうして。サンフランシスコの摩天楼を舞台にエリートビジネスマンとして活躍していたそうだ。

この日のステージは年末ということもあってクリスマスソングが中心。ともすればしっとりだけで終わってしまう曲をダイナミックにダニー風にアレンジする。その意外性でメンバーすら戸惑わせながらもぐいっと巻き込んで拍車をかけていく。大胆かつ繊細な演奏は観客を圧倒し、ついにはステージも客席も一体となって昇華させていく。お見事！

演奏の合間に客席から「ダニー、次は歌ってよ」と声がかかる。自分はあくまでピアニストだから……といった表情を見せながらもそれにこたえる。ファンは彼のピアノだけじゃない魅力まで知り尽くしているのだ。大きな体に似合う包容力のある歌声は、ピアノとともに冬の夜に浸み通るのだった。

DONNY SCHWEKENDIEK ジョージア州アトランタ出身。カリフォルニア大バークレー校で応用物理学を学ぶもジャズへの夢を捨てきれず中退。1987年に初来日。1988年より名古屋で本格的に演奏活動開始。現在に至るまで全国各地のステージで活躍している。日本人の妻と二人の子供に恵まれ、四大家族。ライブ活動以外では、名古屋芸術大学で音楽講師を務めるなど若き才能を育てている。取材中ご家族の写真を取り出した際に「親バカですが…」と前置きするあたりは長年日本に住んでいる賜物だろう。奥さん、娘さんともに美しく、息子さんもハンサム。写真を見せる彼の嬉しそうな表情は家族への愛情を物語っていた。じつは娘さんもボーカリストとして同じステージに立つことがあるそうだ。ライブ情報をぜひチェックしていただきたい。<http://www.donny-jazz.com/>



協力/swing 052-932-1328  
<http://www.m1.mediacat.ne.jp/~swing/>  
文/長田ヒロシ 写真/藤木百合